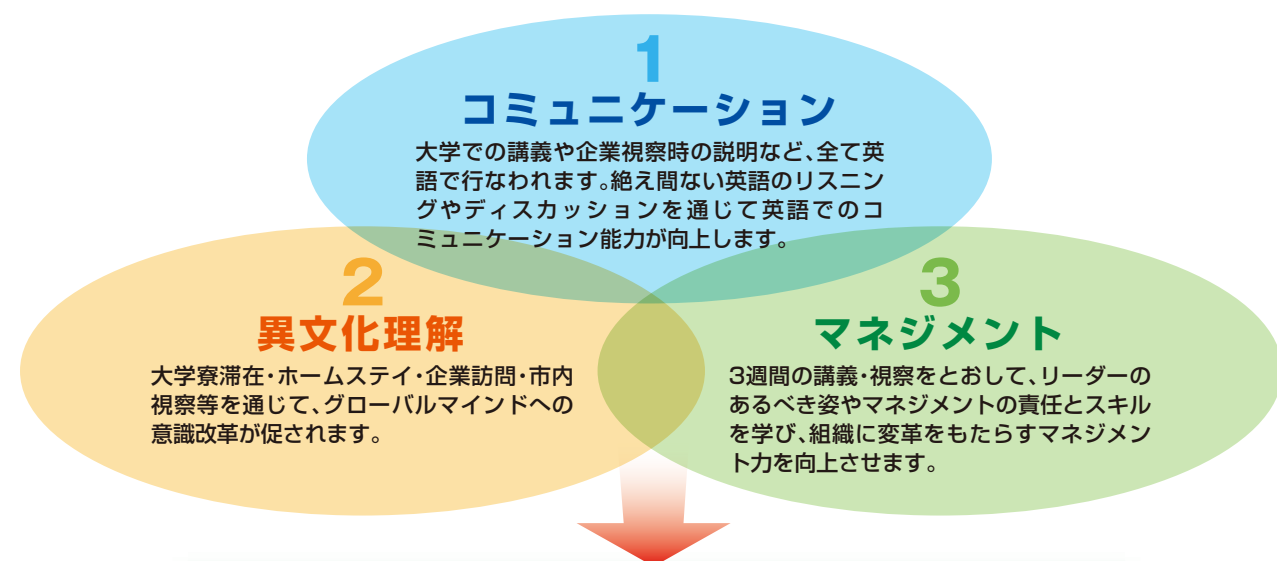


プログラムのねらいと効果



次世代グローバルリーダー育成

- ・世界で活躍できるグローバル人材をめざす。
- ・アメリカにて異文化受容力とたくましさ・積極性を身につける。

スケジュール



プログラム設立の背景

「次世代ビジネスグローバルリーダー育成 短期留学コース(旧エグゼクティブ短期特別プログラム)」は、米ノートルダム大学の古橋雄作元経営学部教授(※1)、同大学のテオドア・ヘスバーク元総長(※2)のご尽力により作られたプログラムです。

ノートルダム大学は、インディアナ州北西部のサウスベンド市に位置するカトリック系の名門総合大学です。米国の大学ランキングにおいては2,000校の中で常にベスト20に入る名門校で、エモリー大学などと共にヒドゥン・アイビー(ハーバード大学をはじめとする米国の名門私立大学8校と同等の教育レベルを誇る大学群)に数えられています。アメリカンフットボールでは全米トップレベルの実力を誇り、中でもジョー・モンタナやジェローム・ベティスなどの有名フットボール選手は日本でもよく知られています。日本の慶應義塾大学、上智大学、南山大学との交流も盛んであり、大学間で交換留学が実施されています。

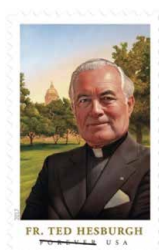
本プログラムは、1960年代後半に発生し、1980年代に激化した日米貿易摩擦をきっかけに創設されました。当時、経営学部教授として日米ビジネスの研究を続けられていた古橋教授は「日米それぞれがお互いの人や文化を理解しあう必要がある」とお考えになり、1991年にノートルダム大学内に日米ビジネス研究センターを設立されました。そして1997年には、次世代のリーダーに日米双方の異文化理解を深めていただくことを目的に、同研究センターと当連盟の協力の下、本プログラムが開発されました。

2011年に古橋教授が逝去され、日米ビジネス研究センターは閉所されましたが、ヘスバーク神父のご協力により本プログラムは今も継続されています。その後、2015年にヘスバーク神父は逝去されましたが、私どもは両名のご遺志を継ぎ、今後も充実したプログラムを提供し続けてまいります。



※1) 古橋雄作教授(写真右)はワシントン大学にてMBA取得後、イリノイ大学にて博士課程を修了され、その後ノートルダム大学経営学部教授、経営学部長、名誉教授を歴任された。アジアや欧州の大学でも指導・研究され、国際経営・マーケティング分野に造詣が深く、日米ビジネス関係における研究でも知られた。

※2) テオドア・ヘスバーク神父(写真左)は、35年間にわたりノートルダム大学の総長を務められ、聖職者でありながら世界最多の名誉博士号を持つことでギネスブックに登録された世界的な著名人である。ケネディ元大統領、ニクソン元大統領など数多くの大統領のプレーンとして活躍され、2000年にはクリントン政権下で学者として初の国民栄誉賞を受賞された。2017年9月には米国にて同氏のフォーエバー・スタンプ(永久保証切手)が発行された。



派遣者の声

2004年修了生(第8期生)

天野エンザイム株式会社
管理本部社長室長 徳安 宏 氏



本コースへ派遣するようになった時期は、海外事業が拡大していく中で、会社全体にグローバルビジネスへの機運が高まっていた。当社では、出張機会の多い営業職ではなく、出張機会が少ない社員(管理、品質管理、製造部門など)に、本研修の機会を与えている。実際に現地に派遣されることにより、海外で働くことを考えるきっかけになったり、グローバル化への会社の取り組みを実感することになる。単なる語学研修ではなく、米国の政治・経済・歴史・文化に触れることができ、日本人である自身を内省する機会にもなる。また、中部の有力企業の皆様と共に参加させていただき、研修後も続く異業種の友人を得るきっかけがえのない機会にもなっている。派遣にあたっては、大勢を1回で派遣するのではなく、2～3名と少数ではあるが継続的に送り出すようにしている。語学勉強など選ばれるための準備期間が用意されているとも言える。もう15年以上も参加させていただいている研修なので、社内で認知されており、今年は自分が選ばれるかもしれないと楽しみにしている社員もいるだろう。選ばれた本人は嬉しい気持ちと同時に、会社の人材育成への取組を理解し、期待に応えようとする意欲に取り組む。管理職への昇進要件はTOEICスコアの一定基準が設けられているが、修了者は基準以上のスキルを求められてことも認識しているだろう。その意味でも本研修は全社的なレベルの底上げにつながっている。

ノートルダム大学での研修の魅力

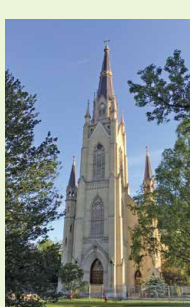
1 充実した教育環境

卒業生をはじめカトリック教会からの寄付金が豊富で最先端の設備が整えられています。30の学生寮がキャンパス内にあり、2週間、学生寮にて生活していただけます。講義をより理解するために参加者同士で勉強会(予習・復習等)を毎日実施します。



2 170年以上の歴史を誇るカトリック系の名門総合大学

1842年男子校として創立。1972年より女子学生の受け入れを開始して現在では、学部・大学院の学生総数は約12,000名(内、留学生4%)を抱える総合大学です。学部課程(4年制)、大学院課程(Doctor/Master修得)、専門課程(法律、経営・ビジネス、神学)が設置されています。



3 ノートルダム大学の主な出身者

- ◎コンドリーザ・ライス(元アメリカ合衆国国務長官)
- ◎フィリップ・ブルセル(モルガン・スタンレー元最高経営責任者(CEO))
- ◎スティーブ・オドランド(オフィス・デポ、会長兼CEO)
- ◎ジョー・モンタナ(元アメリカンフットボール選手)など

ノートルダム大学の恵まれた教育環境

1 英語習得に適した環境

一般的な英語(General American)が話されるアメリカ中西部にあるため、英語習得には抜群の環境です。



2 大都市周辺の都市に位置する

産業の発展している五大湖周辺における大都市の近くに位置していますので、アメリカ経済に触れることができます。シカゴは全米第3の都市で、車で2時間程度の距離です。

3 “インディアナ州 サウスベンド市”

ノートルダム大学他、多数の大学がある学生の町であり比較的安いで、渡航経験の少ない方でも、安心して学ぶことができます。



参加要項

申込締切	2020年2月28日(金) ※原則として締め切りですが、特別な場合に限り、渡米直前まで申し込みを受け付けます。	申込方法	事務局までご連絡ください。別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAXして下さい。
参加費	990,000円+消費税 海外消費分免税 900,000円 国内消費分 90,000円 ※原則として、2020年4月末日までに振込み下さい。 ※振込先は請求書にてご連絡いたします。	最小催行人数	15名 ※最小催行人数(15名)に達しない場合は、中止することがございます。

主催：一般社団法人 中部産業連盟 ノートルダム大学 研修事務局 共催：新東工業株式会社

お問い合わせ

一般社団法人 中部産業連盟 ノートルダム大学 研修事務局
〒461-8580 名古屋市中区東区白壁3丁目12-13 TEL **052-931-3183**(直通) FAX052-931-5198
担当：木下、高木、大土井、安藤、西田、石川 まで
E-mail: global@chusanren.or.jp URL: https://www.chusanren.or.jp/



米国ノートルダム大学ビジネススクール

第24回

次世代グローバルリーダー育成

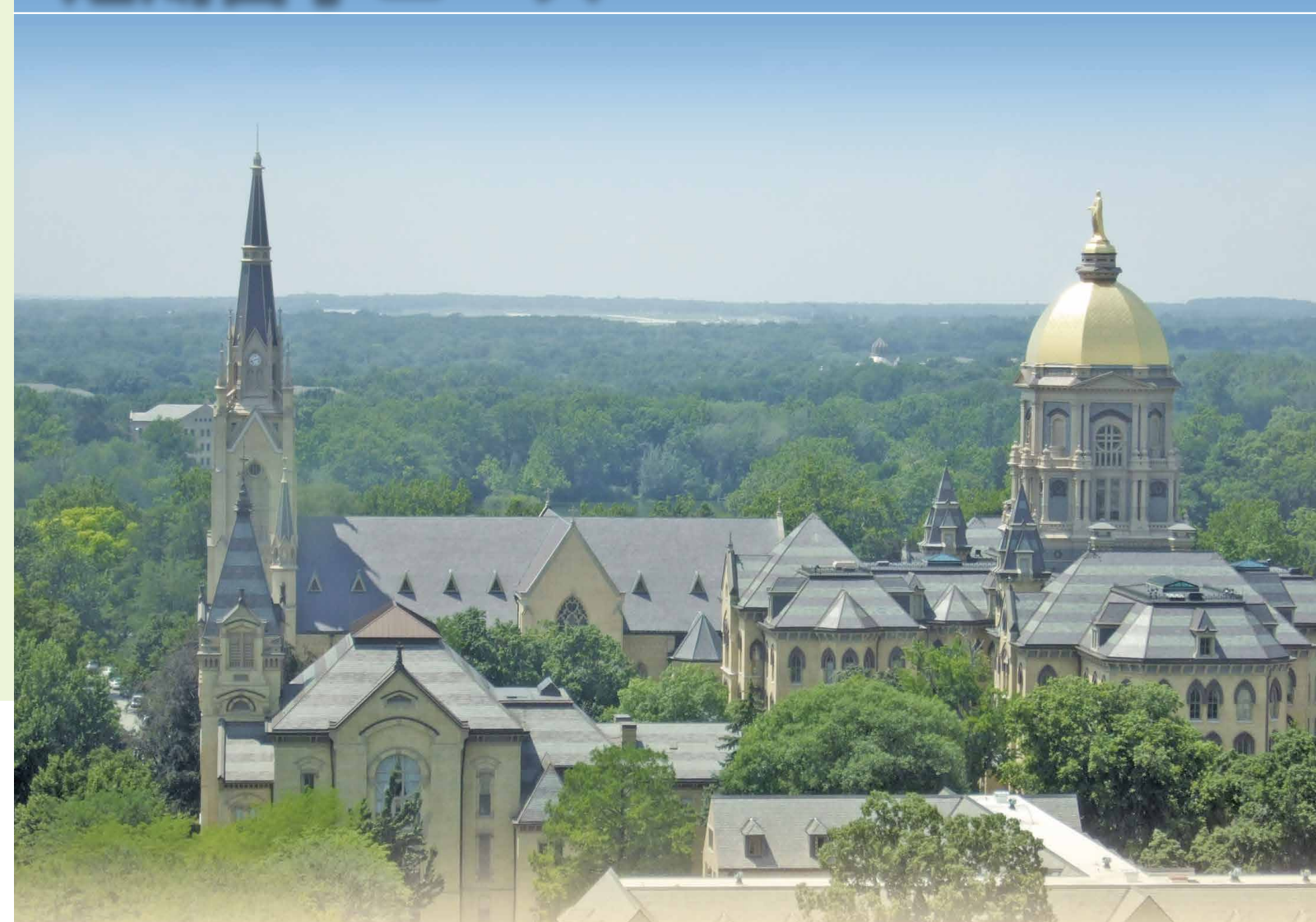
短期留学コース

国内研修

2020年4月～5月 [3回]

現地研修

2020年6月6日(土)～27日(土) [3週間]



～異文化環境のあらゆる状況において常に
プロアクティブ(積極的)に行動できる
人材育成を目指して～



課題設定

国内研修

中産連ビルにて 4月~5月(3日間)

学びの準備(目標・課題設定)

	時間	内容
第1回 4/10(金)	AM	オリエンテーション① ・自己紹介 ・プログラム概要説明 ・個別課題設定の説明
	PM	オリエンテーション② ・講義、視察先の紹介
第2回 5/15(金)	AM/PM	講義 ・個別課題の仮説案作成 ・実施計画書の作成
第3回 5/29(金)	AM	オリエンテーション③ ・渡米に際して ・大学生活について
	PM	講義 ・個別課題の発表・決意表明 (英語でのプレゼンテーション) ノートルダム大学学生との交流

※細部につきましては、変更になる場合もありますので、予めご了承ください。

オプション英会話

別料金

I.C.NAGOYAにて
4月~5月(全8回)毎週土曜日

スピーチ&プレゼンテーション

レッスン内で学んだことや自らの考えを、スピーチします。また、プレゼンテーションの練習も同時に行います。人前で話すことへの抵抗感をなくし、伝えることの難しさや重要性を体感します。

講義・視察準備

講義のトピックを用いて、語彙・フレーズを学び、ディスカッションの仕方を習得します(マーケティング、リーダーシップ、など)。講義・視察時に役立つ質問の仕方も練習します。

リーディング&ディスカッション

ビジネスシーンで役立つフレーズや、知っておきたい知識満載の教材を使用し、より高等なディスカッションが展開できるように学習します。

インプット&リサーチ

大学講義

2週間

ビジネススクールでの学びと体験

講義はすべてノートルダム大学講師陣により英語で行われます。次世代グローバルリーダーに必要な知識や考え方を座学と演習で理解を深めます。また、最終日の個別課題発表に向けてプレゼンテーション力向上に力を入れます。

1.コミュニケーション

★チームビルディング

個人の行動特性を知るための「DISC診断ツール」を用いて、チームビルディングの手法を学びます。人間の4つの行動特性を理解することで、コミュニケーション能力が向上します。

講義概要

- ◎DISCの4つの行動特性
- ◎行動特性の相違をチームとして活かすべき多様性の理解



グループミッション

- ◎ノートルダム大学内にて、合計50名(男性25名、女性25名)にアンケート調査を実施する。
- ◎テーマは講義内容に限定、仮説を立てて、検証する。
- ◎実施期間: 初日~2週間
- ◎発表日: 最終日

なぜ大学寮滞在・ホームステイ(1泊2日)をするのか?

- ◎現地の生活に溶け込むように生活しながら、自然な英語が身につきます。
 - ◎ホストファミリーとの交流をとおして、アメリカらしい文化や習慣を肌で体験できます。
 - ◎価値観の異なる人々と触れ合うことにより他者理解と、新しい自分に気づき、視野が広がることで、自信につながります。
- ⇒異文化理解を深めることで、グローバル人材に必要な国際感覚を身につける絶好の機会といえます。

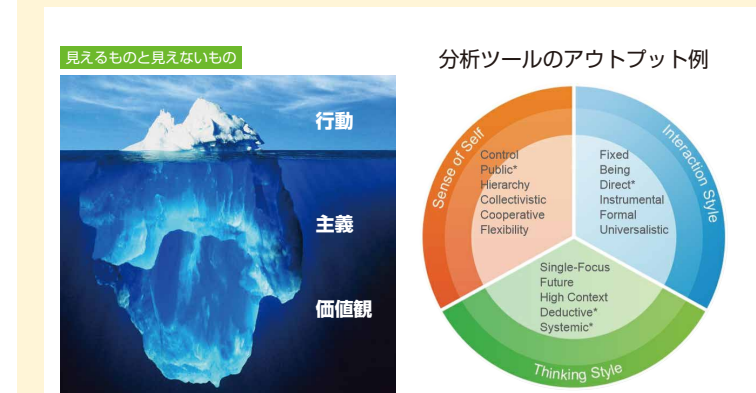
2.異文化理解

★異文化コミュニケーション

仕事をするには、相手やメンバーを理解することが重要です。目で見える行動だけでなく、見ることのできない主義や価値観を知ることが大切になります。演習や分析ツールを使い、相手との違いを理解し、違うことに対してどのように振る舞うのかを学びます。

講義概要

- ◎日米の文化比較
- ◎文化的な特徴の理解
- ◎他人のワークスタイルの理解 (GSP(Globe Smart Profile)の利用)
- ◎異文化交流での重要な行動特性の理解 (IES(Intercultural Effectiveness Scale)の利用)



3.マネジメント

★マネジメント対リーダーシップ

組織に変革をもたらそうとするとき、必要になるのがリーダーシップです。リーダーシップをマネジメントと比較することで、リーダーのあるべき姿や仕事の優先順位の考え方を学びます。

講義概要

- ◎リーダーとマネジャーの比較
- ◎マネジメントの責任とスキル
- ◎リーダー/マネジャーのあるべき姿とは(演習)

Manager VS Leader	
Manager	Leader
①Planning	①Establishing Direction
②Organizing	②Aligning People
③Staffing	③Motivating
④Directing	④Inspiring
⑤Controlling	⑤Producing Change



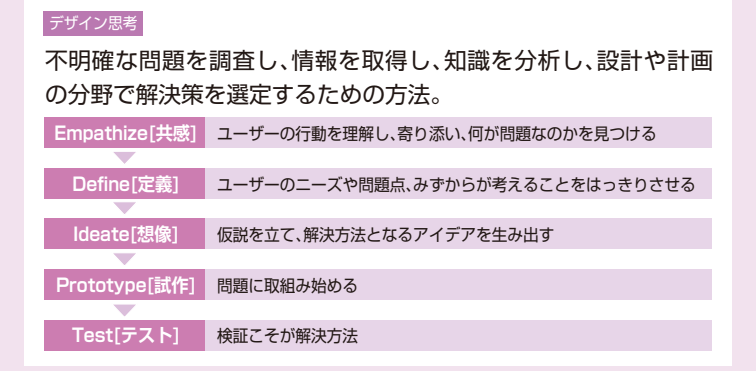
アメリカ特有の講義

★アメリカのイノベーションとデザイン

イノベーションは、企業にとってとても必要なことです。しかし、イノベーションを起こすために必要なことがわかりにくい実態があります。ビジネスモデルキャンパスやデザイン思考等でその考え方を学びます。

講義概要

- ◎イノベーションの要素
- ◎ビジネスモデルキャンパス(演習)
- ◎デザイン思考(事例、演習)



企業訪問・現地視察

1週間

アメリカのビジネス最前線から学ぶ

アメリカの先端企業、多国籍企業などを訪問し、経営者とのディスカッションや現場視察を通じて次世代グローバルリーダーに必要なことを学びます。

代表的な訪問予定企業

- 日系企業**
- ・Toyota Boshoku Indiana (自動車部品メーカー)
 - ・Toyota Motor Manufacturing Indiana, Inc. (自動車メーカー)
- ローカル企業**
- ・Zimmer Biomet Holdings, Inc. (医療機器・機械の製造・販売)
 - ・I/N Tek, I/N Kote (自動車部品メーカー)

日系企業では

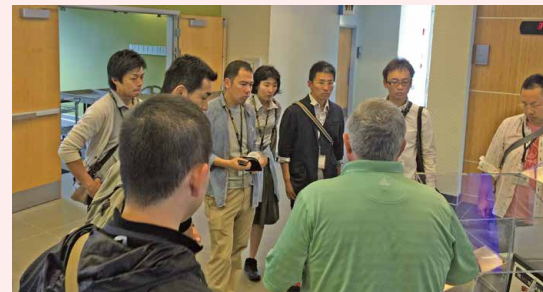
工場視察・経営幹部を含めた日本人駐在員と懇談を行い以下のことを学びます。

- ☑ アメリカの工場ならではの取り組みが分かる
- ☑ 日本人マネージャが現地で大切にしている心構えや、実際の取組を知ることができる
- ☑ コミュニケーション能力と異文化理解力を高める重要性を学ぶことができる
- ☑ 人材育成の重要性やその取組を学ぶ事ができる

ローカル企業では

会社を訪問し経営者や経営幹部と懇談・視察を行い以下のことを学びます。

- ☑ 積極的な質問で訪問企業の経営方針や人材育成について理解を深める
- ☑ アメリカの環境や特性を知ることができる
- ☑ 実際に取組む国際戦略について知ることができる
- ☑ 実践的なコミュニケーションの場で英語を活かせる



実践

帰国後

フォローアップミーティング

現地での学びの整理、実務・実践での活かし方をまとめます。

帰国報告会

大学講義・企業視察で学んだこと、個別課題、グループミッションを発表する報告会を行います。派遣者や参加企業の方に成長した姿を見ていただけます。



修了生の活躍

1997年修了生(第1期生)
トヨタ紡織株式会社
グローバル人材開発部 採用・育成室 室長 片桐 康成氏

2006年から5年間タイに赴任し、人事のアドバイザーとして働く機会を得ました。日本だけではなく「アメリカ」の労働慣行、多様性を尊重する社会、法律や政治システム、ビジネスについての理解が、アジアの国々を理解するときの大きな助けとなりました。残念ながら、日本の常識は多数派ではありません。大変ハードなプログラムでしたが、短期間でアメリカの常識を体系的に学び、経験する機会には社会人にとっても貴重です。2015年から4年間アメリカに赴任し、いかにノートルダムでの時間が特別で、価値のあるものだったかを思い知らされました。私がお勧めしたいのは、TOEICで700点くらいを取られた方が活きた英語の実践、グローバル人材として更に高みを目指すことを目標とされて行かれることです。他の参加者、一流の大学スタッフ、学生、ホストファミリー、訪問先企業の方々、サウスベンドの方々とも出会う貴重な機会です。キャリアにおいても、人生においても、大きな転機になる研修であることは間違いありません。強くお勧めします。

同窓会

修了後は、同窓会に入会をお勧めします。修了生相互の親睦をはかり、国際人としての素養を深め、磨くことを目的とし、講演会や親睦会を開催しております。

